放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.07.13//no.37

赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08.02現在換算値
文部科学省制作

身近な小学校の推定値！〈今年5月時点〉

住まい、職場などの放射線量を知ろう！

日光市は、昨年9月に毎時 0.10～0.20μSvで推移と言う！

右上の栃木県土壌汚染地図〈文科省制作〉から日光は汚染地帯です。市は、身近な放射線量を広報に掲載しようとしませんが、多くのひとは情報を求めています。改めて、住まい、職場、日頃出かける場所など放射線量を知るために、各小学校の今年5月の放射線量を推定しました。これは、県が昨年、小学校で測定した結果を基準に、1年間で放射線量が減少した数値〈※3〉です。各小学校校庭中心の測定値は、風で周りに飛び減少しています。また、車や人が行きかうところは、風、タイヤや靴が放射性物質を運び移動していますが、全体的な汚染は減っていません。

日光市立小学校の放射線量

単位/毎時マイクロシーベルト/μSv/h

〈測定地校庭の中心/地表50㎝〉

※1　栃木県、県教委会測定/2011.05.13-19

※2　日光市測定〈2012.05.14～18/月-金〉最低～最高値

※3　1年後(2012.05)放射線量セシウム減少の推定値〈※1×0.85〉約15%減少/四捨五入

	※1	※2	※3			※1	※2	※3
今市小	0.37	0.25～0.30	**0.31**		日光小	0.36	0.12～0.37	**0.31**
今市2小	0.41	0.16～0.33	**0.35**		清滝小	0.33	0.14～0.24	**0.28**
今市3小	0.38	0.14～0.29	**0.32**		野口小	0.56	0.29～0.38	**0.48**
南原小	0.30	0.14～0.18	**0.26**		中宮祠小	0.25	0.21～0.26	**0.21**
落合東小	0.17	0.08～0.20	**0.14**		所野小	0.49	0.13～0.42	**0.42**
落合西小	0.31	0.06～0.18	**0.26**		小来川小	0.32	0.19～0.23	**0.27**
大桑小	0.65	0.25～0.37	**0.55**		安良沢小	0.38	0.16～0.30	**0.32**
轟　小	0.54	0.24～0.31	**0.46**		鬼怒川小	0.55	0.28～0.47	**0.47**
小百小	0.71	0.24～0.38	**0.60**		下原小	0.54	0.25～0.32	**0.46**
大沢小	0.22	0.12～0.18	**0.19**		三依小	0.32	0.22～0.30	**0.27**
大室小	0.30	0.18～0.31	**0.26**		栗山小	0.31	0.11～0.16	**0.26**
猪倉小	0.19	0.11～0.19	**0.16**		湯西川小	0.16	0.17～0.30	**0.14**
小林小	0.37	0.29～0.36	**0.31**		足尾小	0.34	0.21～0.33	**0.29**

風が吹くときは
マスクをしよう!!
布団干し、洗濯物は室内で

風の吹く日は地表の放射性物質をまきあげそれを吸い込み、内部被ばくの危険が高まります。布団･洗濯物に放射性物質が付いては困ります。チョッとの注意の心がけを！

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン　❑〈1999.ナスビット論文より〉

①　移住義務ゾーン	5mSv/年以上
②　移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③　放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域

❑　**政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv**　❑

日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提、内部被ばく除外。成人対象で、妊婦、乳児、子ども、女性など無視。
〈上記基準/参考*ICRP-年間1mSv/公衆被ばく限度基準〉
❖年間0.1mSv/公衆被ばく限度基準欧州放射線リスク委員会

❑**栃木県原発崩壊前/毎時0.038～0.044μSv**❑

日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm

マイクロシーベルト/以上～未満		
0.1 未満	1ヶ所	0.2%
0.1～0.2	155ヶ所	28.8%
0.2～0.3	187ヶ所	34.8%
0.3～0.4	152ヶ所	28.3%
0.4～0.5	30ヶ所	5.6%
0.5～0.6	10ヶ所	1.9%
0.6～0.7	2ヶ所	0.4%
0.7～0.8	1ヶ所	0.2%

*〈ICRP　国際放射線防護委員会〉

News - 日光市は「水」も「空気」も「食べ物」も安全でした〈日光安全だった宣言〉

❑放射性物質汚染土の仮置き場さえ8割の91市町村が決まらず！政府も、県も、市も、「放射性物質の危険性の認識なし」の結果!!　日光市は、子どもの施設の雨どいなどの高汚染土は施設内に置き去り状態!!危険物の感覚なし!!自宅の汚染土は個人の責任!!

❑除染対象県有施設知っています?/県は、やっと**「今市特別支援学校」**(0.31)**「日光明峰高等学校」**(0.28)の放射線量を、改めて5日から測定開始。(栃木県 2011.12 測定平均)

❑国会事故調報告「**原発事故明らかに人災**」と。しかし、誰がどんな責任をとるの？

❑那須町/住宅除染のモデル作業始める/除染効果は期待薄がチェルノブイリの経験!

❑県は4日「食品安全ホーラム」を開催。自医大･中村教授は「市場に出回る食品は安全と思うが、検査情報などを理解し、最終的には自ら判断を!」〈0705 下野〉個人の責任に！

❑7～8日、日光市の「日光夏の新そばまつり」(日光だいや川公園)。日光市、マスコミがタックを組んでか、除染対象施設(0.33μSv/h)をひた隠しにして知らぬ顔の宣伝!!

放射能は危険　放射能汚染地帯で生活続けるチエ

❑全食品、食材の検査が大事です。行政の責任でやるべきです。
基準値以下でも、特に、子ども、女性、若者には食べさせない。汚染ゼロを!
食べるものは、汚染されていない県、地域のものに心がけましょう。
同産地、同じ食品は食べ続けない。全ての放射線量測定をして安全が確認できない中では、汚染されるものを食べ続けないためのチエです。

❑うららかな春。花壇、家庭菜園、楽しみですが土は汚染されており避けたいです。
もし、やるとすれば、手袋、マスクをしてください。終わった後は、よく手を洗い、うがいをしましょう。服や靴の土･ほこりなどを取ってください。

❑放射能の危険から子どもを守る//高い線量の所には近づかない。マスクをする。
「保養」「一時避難」「疎開」「移住」など考える。相談体制を検討。行政の支援要求。

❖チラシ･バックナンバー見られます//PDF　http://atsugichild.web.fc2.com/
〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288-26-0130//nairamdal-1871@dream.jp

日光市の測定値は信頼できますか！放射能は安全ですか！

日光市、26小学校中、除染対象、毎時0．23マイクロシーベルト以上の学校数比較
①2011年5月＝22校〈県測定結果〉、②2012年5月＝21校〈1年後放射線量推定値〉
③日光市（2012年3月測定結果）除染対象＝15校〈除染対象小学校名ゴシック〉

学校などの放射線量測定器「校正」に注目！！

日光市は、学校などで測定している測定器を「7月から校正を行う」として、一時測定を中止です。さて、「校正」後の測定値が気になります。急に下がるのでは?

学校等の測定は、昨年8月25日から始め、夏休みに「校正」すればすみます。何か不自然です。県は3月のモニタリング測定器変更で 0.21 から 0.16 に大幅ダウンです。

❖表紙の記事/※1 は原発崩壊し、放射能汚染されて約2カ月後、校庭の中心での測定値です。厳密に、この値は、風で飛ばされて、他の近隣の場所より低い値になっていると考えられます。

16日(月･祝) 東京 代々木公園
「さようなら原発１０万人集会」

〔第1ステージ（メインステージ） サッカー場〕
❖12：15～ オープニングライブ 小室等など ❖13：30～ パレード出発
〔第2ステージ 野外音楽堂〕 ❖11：30～
〔第3ステージ トラック車ステージ〕 ❖第1部 11：00～ ❖第2部 13：30～
※❑参加する方は、昼飯、水分補給（熱中症に注意！）を自分で用意を！

１０万人は軽く超えそう！ 〈首相官邸前の集会に参加して〉

〈中野区 Sさん〉

3月から続けられている「首相官邸前」の集会が6月22日に45000人とスポーツ紙に載ると、ようやく全国新聞も載せ始め、29日は20万人と報道されました。

私は、仲間と4人で7月6日に参加してきました。周りには若い人も居ますが、50代60代の人が多かったようです。5時半～8時前まで居ました。帰る時に地下鉄国会議事堂駅の改札に行くと、私たちが下りていく出口からは外に出さず、別の出口から、つまり一方通行にしていました。その階段にはこれから集会に参加しようという人たちがギッシリ並んでいました。この勢いを見ていると16日は10万人を軽く超えそうな気がします。

❑首相官邸前//金曜集会は継続。7月29日は「国会包囲行動」を計画❑

❑幼児、子どもなどは、日光市内に5年、10年‥住み続けると健康への危険が高まる no19
❑日光市内観光業者は、東電(政府)から損害賠償金56億6千万円受理(03.05 時点) no21
❑日光の線量値、3月9日からなぜかグ～ンと低下-文科省、高精度測定器自動化で?no21
❑日光市放射能汚染分布(2012.02-03) アスファルト測定で平均線量24％減少と誤魔化し安全宣言！日光のセシウム合計は半年で約7％減少し、それ以外は移動しただけ！no.26
❑井戸水検査OK-だいや川公園内-日光ブランド情報発信センター放射線検査室 no.33

紹 介 ❖こどもひろば❖ 娘は大喜びではしゃいで駆け回る！！
スーパー「かましん」４階〈地域子育て支援センター〉

〈M さん〉

娘が歩き始められるようになってから、日頃、放射能汚染の事が気がかりで、外の広い場所で伸び伸びと遊ばせることが少なくなっています。

そんな中で、スーパー『かましん』の4階にある、日光市地域子育て支援センターの子どもの遊び場を時々利用していますが、子どもが走り回れる広いスペースに色々なおもちゃやすべり台、絵本などが無料で利用でき、連れて行くと娘も大喜びではしゃいで駆け回っています。遊びに来ている他の子どもたちと触れ合えるのもいいですね。優しくしてもらったり、時には突き飛ばされたりしていますが、人と関わりながら思いやりの心を育んで成長していってほしいと願います。午前の部と午後の部に分かれていますが、それぞれの終盤には保育士さんの歌に合わせて体を動かしたり、絵本の読み聞かせたりもあって親子で楽しめますよ！ ❑〈問い合せ/市地域子育て支援センター22-2299〉

夏休み親子保養プロジェクト❑子どもと一緒にいかがですか❑
〈久米山ふれあいロッジ〉＝ 岡山県津山市神代 ＝

日本各地には、放射能汚染された中で生活を強いられている親子のために、一時的に心身を休ませて健康を保つために活力を養うために援助する仲間がいます。

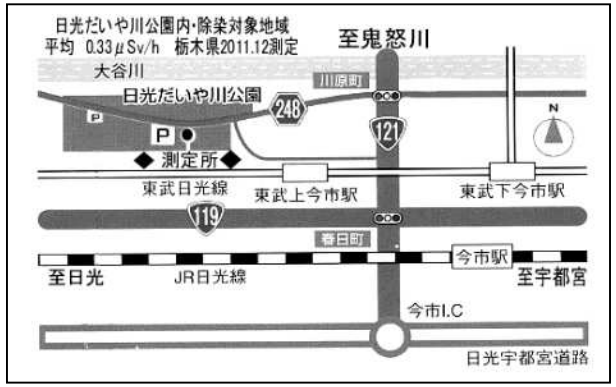
岡山県「津山･夏休み親子保養プロジェクト」は、私たちの知人からの紹介です。

❑申し込み 7月17日〈相談ください〉 http://tsym.exblog.jp/16215143/
❑期 間 7月23日(月)～8月6日(月) 14泊15日間
❑宿泊費/全額補助❑旅費/一部補助❑滞在費/自己負担(自炊施設があり)
❑7/29 海水浴(鳥取県羽合温泉) 8/4 農業体験、8/5 津山ごんご祭り花火大会など
〔さよなら原発ママパパ美作ネットワーク〕090-1013-4755

家庭菜園など野菜果物の放射線量測定を！〈無料〉

日光ブランド情報発信センター「放射線量測定室」＝日光だいや川公園内

❑「放射線量測定室」☎080-2676-1608

日光は汚染地帯です。牧草が、山菜が、魚が、野生動物が、野菜が汚染されています。県は、日光市内の農産物初出荷時に1点の検査で「安全」宣言です。これでは安心できません。楽しみに家庭菜園でつくっている人が大勢います。ぜひ、安心して食べるために、検査をしてください。

日光市の『放射線量測定所』は看板も案内もありません。『秘密』なのでしょう！？